

2026年度 第二学年 国際探究科 韓国修学旅行

■1日目：出発、そして韓国文化との出会い

5月26日、中部国際空港（セントレア）に集合した生徒たちは、航空便にて仁川（インチョン）国際空港へと向かいました。生徒の中には初めての飛行機、初めての海外という者も多く、出発前は緊張した面持ちも見受けられましたが、無事に韓国へ到着しました。

ソウル市内に移動した後は、明洞（ミョンドン）にて「NANTA（ナンタ）」を鑑賞しました。このショーは言語を介さないノンバーバル・パフォーマンスであり、お笑いや音楽を交えた構成に生徒たちは大いに魅了されました。本校の生徒が舞台に上がり、出演者と一緒にパフォーマンスを作り上げる貴重な場面もあり、会場は大いに盛り上がりました。夕食には本場韓国のプルコギを堪能し、皆満足そうな表情で1日目を終えました。



■2日目午前：堂谷（ダンコック）高校との絆を深める学校交流

2日目の午前には本修学旅行のメインイベントの一つである堂谷高校との学校交流が行われました。歓迎式典では、両校代表による挨拶に続き、お互いの文化を紹介し合いました。津島高校の生徒たちは、準備してきたオリジナルスライドを用いて英語での学校紹介を堂々で行いました。

続いて行われた出し物では、堂谷高校の生徒が迫力あるK-POPダンスを披露してくれたのに対し、本校は手作りの「日韓カルタ」大会を開催しました。日本語とハングルを併記したカルタを囲み、両校の生徒が笑顔で競い合う姿が見られました。その後、堂谷高校の生徒の案内で校内を見学し、実際の授業の様子や施設を見学しました。言葉の壁がある中でも、共通の言語を必死に探し、何とか意思疎通を図ろうと懸命に励む生徒たちの姿が非常に印象的でした。最初は緊張していた生徒たちの表情も、共に韓国の給食を食べる頃にはすっかり和らぎ、別れの際には再会を誓い合って記念撮影を行いました。





■2 日午後：ソウル市内散策「B&S プログラム」

午後は、現地の大学生がガイド役となる「B&S (Brothers & Sisters) プログラム」に参加しました。大学生のお兄さん、お姉さんたちに連れられ、生徒たちは班ごとにソウルの街を散策しました。

現地の文化や歴史に直接触れ、自分たちが訪れたい場所を巡る中で、生徒たちは時間を忘れるほど楽しんでいました。多くの生徒がお土産を手に満足げな表情でホテルに帰着し、非常に充実した半日となりました。



■3 日目：歴史を学び、平和を考える

修学旅行の締めくくりとして、烏頭山（オドゥサン）統一展望台を訪れました。ここは漢江（ハンガン）と臨津江（イムジンガン）が合流する地点に位置し、川の向こう側に北朝鮮を間近に臨むことができる場所です。

生徒たちは、展望台から見える北朝鮮の景色を真剣な表情で見つめ、現在も続く韓国と北朝鮮の分断の歴史について改めて学びました。同じ民族が分断されているという現実には、生徒たちは平和の尊さや国際情勢の複雑さを肌で感じているようでした。教科書での学習を超え、自分たちの目で見て考える、国際理解教育として非常に意義深い時間となりました。

最後の昼食は、仁川国際空港の近くで韓国料理の定番である石焼きビビンバをいただきました。本場の味を堪能しながら、この3日間で出会った人々や経験した出来事について、楽しそうに振り返る姿が印象的でした。

その後、仁川国際空港へと移動し、帰国手続きを行いました。帰国便の出発が予定より1時間ほど遅れましたが、夕刻、全員が無事に中部国際空港に到着し、3日間の全日程を終了しました。



国際探究科担任